

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E112L001	技術科指導法(中等) (Introduction Method of Industrial Arts(Junior High School))																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	2	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 市原靖士、中原久志 E-mail 内線											
授業の概要	中学生を対象とした技術教育として、1)技術的課題解決力(技術教育に関する問題を技術的視野で認定し、課題化して、一定の制約条件の元で最適化を図りつつ解決する能力、2)協同的行動能力(学習者の共同や協力及びそれらを前提とした分業・分担目標達成の鍵)を育成するための方策について指導する。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	技術教育について理解する。																
目標2	普通教育としての技術教育について理解する。																
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	教科とは何か																
2	授業とは何か																
3	授業設計(1)基本的なフレームワーク																
4	授業設計(2)具体的な設計事例																
5	授業設計(3)ICT等を利用したフレームワーク																
6	指導案の書き方																
7	指導案を書く																
8	模擬授業																
9	技術科教育における技術の捉え方(1)学習指導要領について																
10	技術科教育における技術の捉え方(2)教材開発的に視点から																
11	技術科教育における技術の捉え方(3)実習を中心として																
12	技術科教育における技術の捉え方(4)ICT機器利用に関して																
13	わが国の技術教育の現状																
14	アメリカ合衆国における技術教育																
15	技術科の授業内容の検討																
ラ ア イ ニ ン テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	・グループに分けデジタル教材の共同作成を行う ・指導案を作成しプレゼンテーションをしてお互いに協議、修正や改善を する					工 夫 そ の 他 の	・ICT機器を利用した発表 ・デジタル教材利活用									
準備	・指導案の作成(3時間)																
学修	・デジタル教材の共同制作(3時間)																
事後	・指導案の修正・改善(2時間)																
学修	・デジタル教材の修正・改善(2時間)																
教科書	中学校学習指導要領 中学校学習指導要領解説技術・家庭編 新技術科教育総論(日本産業技術教育学会技術教育分科会編)																
参考書	特になし																
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10					
	試験	50%															
	レポート課題	50%															
注意事項																	
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。																
リンク	URL																